

▶ 反対の主張や例外はないか

あなたが述べようとしていることに反する主張や事実がないかどうかをあらかじめ検討し、もしあれば提示し、論駁したり、例外として示したりしておきましょう。読む側の立場からみれば、別の可能性があらかじめ否定されていることで、主張の説得力が大きく高まります。

▶ 主張の確かさには段階がある

世の中、すべてを白か黒かでは語れないように、学術的な主張にも、100%の確かさでいえることもあれば、80%ほど、60%のこともあります。あるいは30%くらいの可能性しかない事実を指摘することもあるでしょう。「必ず」「すべて」なのか、「ほとんどの/たいていの場合」、「多くの場合」、「ときには」、「まれに」などと、どのような確率でいえそうなのか、慎重に提示しましょう。文末でも、「である/いえる」とするのか、「であろう/いえよう」とするのか、あるいは「あり得る」とするのかといった主張の強弱に注意して書きましょう。

アカデミックライティングの基礎 -パラグラフとは-

大学における学術的な文章の書き方をアカデミックライティングといいます。アカデミックライティングはレポートの書き方の基本であり、作文、エッセイあるいは新聞記事の書き方とは異なっています。パラグラフは三つの構成要素から成り立ちます。次の例で考えてみましょう。

例文

夏目漱石門下の学者野上豊一郎は、法政大学史上、二つの点で重要である。第一に、本学が総合大学となるにあたって予科の中心となって多くの優れた教員を集めたことである。たとえば作家内田百閒や倫理学者和辻哲郎らである。そうして漱石ゆずりの野上の自由で批判的な精神が、本学の「自由と進歩」の学風の基礎となったのである。学生が主導して校歌が作られたのもこの時代である。野上の第二の重要な役割は、戦後最初の総長として、軍国主義的な体制を一掃したことである。人脈を生かして、リベラルで民主的な学者たちを本学に集め、戦後の復興を主導した。野上自身は志半ばに急逝するが、彼の事績が次の大内兵衛総長時代に本学が飛躍的な発展をみる下地となった。要するに、野上豊一郎は本学が今日のような「自由と進歩」の大学となるうえで大きな功績があったといえる。



例文のパラグラフにおけるTS,SS, (SD)およびCSの関係

<p>(TS) 夏目漱石門下の学者野上豊一郎は、法政大学史上、二つの点で重要である。</p>	<p>TS</p> <p>トピックセンテンス パラグラフにおける中心的アイデアを述べる文です。それはトピックが何であるかを述べるだけでなく、一つのパラグラフ内で完結する特定トピックに話題を限定する役目をもっています。トピックの範囲を限定する記述をコントロールリング・アイデアといいます。</p>
<p>(SS1) 第一に、本学が総合大学となるにあたって予科の中心となつて多くの優れた教員を集めたことである。</p>	<p>SS</p> <p>サポートセンテンス トピック・センテンスを展開する複数の文です。これらの文は理由、例、事実、数値、引用した情報を用いることによりトピック・センテンスを説明(補強)します。</p>
<p>(SD1) たとえば作家内田百閒や倫理学者和辻哲郎らである。</p>	<p>SD</p> <p>サポートディテール 細かい内容説明はさらにSDで補足します。</p>
<p>(SS2) そうして漱石ゆずりの野上の自由で批判的な精神が、本学の「自由と進歩」の学風の基礎となったのである。</p>	<p>CS</p> <p>コンクルーティンセンテンス パラグラフの終わりを示し読者に重要な点を記憶させておく文です。内容はTSと同じでなくてはなりません。</p>
<p>(SD2) 学生が主導して校歌が作られたのもこの時代である。</p>	
<p>(SS3) 野上の第二の重要な役割は、戦後最初の総長として、軍国主義的な</p>	
<p>(SD3) 体制を一掃したことである。</p>	
<p>(SD4) 人脈を生かして、リベラルで民主的な</p>	
<p>(SD4) 学者たちを本学に集め、戦後の復興を主導した。</p>	
<p>(SD4) 野上自身は志半ばに急逝するが、彼の事績が次の大内兵衛総長時代に本学が飛躍的な発展をみる下地となった。</p>	
<p>(CS) 要するに、野上豊一郎は本学が今日のような「自由と進歩」の大学となるうえで大きな功績があったといえる。</p>	

レポートの書き方

TS 例：夏目漱石門下の学者野上豊一郎は、法政大学史上、二つの点で重要である。

トピック

コントロールリング・アイデア



トピックセンテンスの重要性

よく書けているパラグラフはトピックセンテンスを含んでいます。多くの場合、トピックセンテンスはパラグラフの最初の文であり、パラグラフで最も重要な文です。トピックセンテンスによってそのパラグラフが何を論じているのかがはっきりします。このため、トピックセンテンスは読み手にとっても、書き手にとってもパラグラフを理解する上でのガイドとなるのです。書き手にとってはどんな情報を含めるべきかが明らかとなり、読み手にとってはパラグラフが何に関するものなのかを理解するための準備ができるわけです。

理解しやすいパラグラフ構造は、大学のレポートだけでなく、就職活動のエントリーシート、また就職後も社内のレポートを書くときなどにも効果的です。大学生でいるうちにマスターしておきたいスキルです。